

9月15日は
敬老の日

町の老人福祉行政

ゆたかな余生手助け

制度や施設のご利用を

九月一日から老人福祉月間。そして九月十五日は敬老の日。老人福祉法には「老人は社会に寄与してきた者として敬愛されなければならない」という趣意が込められていて、また、その知識と経験を社会に役立たせるよう努めるものとする」とうたわられています。

「老齢期になると定年退職、世帯主、主婦としての家庭の中心的役割の喪失、家族のいさかいなどから孤独感にとらわれることも多いものです。老人の健康と暮らしを守り、老人にふさわしい役割と生きがいを考えましょう。」

今日ほど
老人問題の
重要性が叫
ばれている



健康づくりに取り組むお年寄りたち

います。そこで老人対策は、長期的かつ総合的対応を要する問題であり、生きがい、福祉サービス、健康、医療と各般にわたる総合対策が必要とされています。また単に老人を弱者として保護するのではなく、老後の生きがいを高める積極的対策でなければなりません。このような観点から、本町でも幅広い施策を実施・計画しています。この老人福祉月間を機会に、お年寄りを取りまく問題をみなさんとともに考え、より充実した老人福祉対策をすすめていきたいと考えています。次に町の主な老人福祉対策を紹介してみます。

◇町民センター 教養の向上およびレクリエーションのための便宜の供与などを総合的に無料または低料金で利用させる施設で、高森昭和の中河原団地隣りにあります。

す。

◇養護老人ホーム 阿蘇南部六カ町村で建てた施設で、長陽村大字河陽にあります。名称は「湯の里荘」。現在、本町から十一人のお年寄りが入所、地域社会との交流を図りながら明るく健康的な余生を送っていられます。

◇特別養護老人ホーム 本町など郡内十二カ町村で建設したもので阿蘇町黒川にあります。名称は「みやま荘」。ここでは特に心身に著しい障害があつて、介護する人がなく困っている六十五歳以上の老人を収容します。定員八十人。本町から八人が入所しています。

◇家庭奉仕員の派遣 寝たきり老人の家庭に家庭奉仕員が訪問して、洗濯・買物など日常生活の世話を行うものです。現在一人の奉仕員が二十五世帯を週一回の割合で訪問しています。

◇老人クラブ育成 老人クラブは同一の小地域に居住する老人が自主的に集まり、孤独感、不満などを解消し、さらに教養の向上、健康の増進、レクリエーション、地域社会のコミュニケーションを図ろうとするもので、町内に二十三の老人クラブがあり、会員は千二百五十三人です。町では、これらのクラブに結成費と活動費について助成を行って自主活動のお手伝いをしています。

敬老会の日程決まる

▽九月十四日 草北へき地集会所（草部北部地区）▽九月十五日 南阿蘇国民休暇村（高森地区）・草部へき地集会所（草部地区）▽九月十六日 色見小学校（色見地区）・林業センター（野尻地区）

▽九月十七日 上色見小学校（上色見地区）九月十八日 河原公民館（河原地区）▽九月二十日 尾下小学校（尾下地区）

※各会場とも午前十一時始りです。



このページは、みなさんから寄せられた原稿で編集するページです。身近な話題や、できごと、提言などをお待ちします。原稿のあて先は役場総務課広報係。住所氏名、年齢、職業をお書きください。紙上だけ匿名扱いできます。また「わが家の王様」に登場させた方などご紹介ください。

享保十年（一七三四）上色見の百姓百余名、豊後中川藩恵良原に逃散。理由―庄屋に対する反発。肥後藩の一揆史を調べていて、前記のような記録を探し当て、わが村の歴史の中にこのような汚点があることを知り愕然とした。

上色見農民の逃散事件

上色見 本田 耕 亮

ちの先祖の百姓さんたちが、二百五十年前に、村の過半数を越す集団で逃亡したというのだ。

当時の藩政時代には、このような行為は百姓一揆の一つとして厳重に禁止され、主謀者・同調者は最高刑の死罪か遠島の重罪が通例であったから、大それた行動を引き起した背景には、それなりの抜き差しならない理由があったのだらう。

通達され、これを知らされた百姓たちは、直ちに三分の二を年内に上納しなければならぬ規定になっていたからだ。

恐らくその年は収穫が思わしくなく、年貢調達が不可能になったので、ついに師走という最も大事な月でありながら、農民の最後の手段「逃散」という最悪事態になったのではないだろうか。

ここに私は、荒涼とした阿蘇火

捨て路頭に迷うもの数知れず、特に阿蘇郡がひどかった。年貢未納者に対する処罰について仁助と称する宝暦の改革を体験した人物が次のように書き記している。

「小百姓は牛馬、家財にいたるまで売りつくし、なお年貢が納められず、借りて納めようとしても貸してくる人もありません。あれこれ思案しているうちに会所に呼び出され、さんざん責められま

「もうひとつの甲子園」―神宮球場で行われた全国高校定時・通信制軟式野球大会は県代表の熊工チームがみごと初優勝―

富永主将は 校区の誇り

菅山 富永みさえ

私は富永公広さん。家族の方も誰にも話されていなかったそう、知っていたらみんなて応援してあげたかったと、残念でなりません。

昼間は職場で働き、夜間は

幕府の耳にも入れば最も不名誉なことであり、これ以上ほかに漏れぬよう隠便に取計らったのである。その事件の仲介の労は、野尻の惣庄屋野尻宇平次氏が当たっている。そして、事件の責任者である高森手永の惣庄屋は、私の調べた限りでは不詳である。

しかし、この事件が起きた翌年の享保二十年に高森手永惣庄屋役として三井村右衛門（現村山・三井家祖先）が就任した記録があるので、恐らく前任者は事件の責任をとらされ、罷免処罰されたのではないだろうか。

さて、上色見農民の逃散事件の結末であるが、逃散先の中川藩と細川藩との話し合いの結果、関係者を処罰せずとの約束のもとで、円満に上色見に帰村させている。細川藩としてもこのような事件が

お知らせのページ

毎日奨学制度の 57年度生受付中

毎日新聞社では、働きながら自分の力で進学できる毎日奨学生制度を設けております。

この制度は、大学生、短大生、専門・各種学校生、予備校生に、各コースの奨学生制度を適用し、必要な学費を貸与、返済不要の奨学金支給のほか、生活一切を保証するものです。

適用地区は福岡、北九州、東京、大阪、愛知、札幌とその周辺です。現在、来年度の奨学生を募集しております。高三年生および予備校生の方でご希望の方はハガキで左記にお申し込みください。

なお、お申し込みの際に氏名、住所のほかに在学(出身校)、進学希望校を書き添えてください

【請求先】〒八〇二 北九州市小倉北区紺屋町三十一 毎日新聞西部本社内 毎日育英会広報係

【実施職種】▽実技試験および学科試験を実施する職種▽建築科▽学科試験のみ実施する職種▽左官科、配管科、塗装科、和裁科▽学科試験のうち指導方法のみ実施する職種▽自動車整備科、洋裁科、造園科、木工科

【申請書の受付期間】九月二十一日から九月二十六日まで

【試験期日】十月中に実施

【受験手数料】▽実技試験一万一千円▽学科試験二千円

【申込先】県庁商工観光労働部職業訓練課(電話三一一一)

詳細については、職業訓練課へ

読書感想文コンクール作品募集

県立図書館では、第三十五回読書週間行事の一環として、読書感想文の募集を行います。

△資格▽県内居住の一般社会人および大学生

△内容▽とりあげる本の題、内容など自由。必ず未発表のもの。ただし、市町村で募集した作品は可

△字数▽千六百字以内。①氏名、②現住所・郵便番号・電話番号③年齢④職業・学校名・学年⑤本の書名・著者名・発行所など。

9月25日に身体 障害者巡回相談

身体障害者巡回相談が九月二十五日町民センターで午前十一時から午後二時まで実施されます。

巡回相談の内容▽更生医療、障害者手帳の交付ならびに施設入所、職業と生活の相談、補装具の製作、修理など

診療科目▽眼科、耳鼻咽喉科、整形外科、補装具等相談

大矢野町で町章 の図案を募集中

大矢野町では町章の図案を募集しています。ふるって応募ください。

応募資格は県内に居住している人。図案は大矢野町を象徴し、町民に親しまれる明るく斬新なデザインで町旗のほか記章や胸章などにも利用できるもの。応募作品は①未発表のもので、他の作品とまぎらわしくないもの②採色は黒一色とし、一枚一点③図案は官製ハガキの裏面上部に直径八センチの面積に書き、下部余白に図案の表現している簡単な説明と応募者の年齢、職業(勤務先・電話番号など)を書くこと。応募される方は九月三十日(必着)までに、〒

草部地区で無料 調停相談を実施

高森調停協会では、草部地区で次のとおり無料調停相談会を開催します。民事問題、家事問題の争いごとや悩みなどお持ちの方は気軽にお越しください。

◇日時 九月十六日(水)午前十時から午後二時まで

◇場所 草部基幹集落センター

◇相談内容 金銭、境界、交通事故、土地、家屋等の問題、その他

現金自動引出し機がお目見え



「現金の引出しはカード一枚でOK」――七月二十七日から肥後銀行高森支店支店に現金自動引出し機が設置されました。利用時間は平日が午

前九時から午後六時まで。土曜日は午後二時まで。同支店ではこれまで現金の支払いはすべて窓口で処理していましたが、土曜日や月末などは待ち時間が長く、利用者から不評を買っていたため設置することにしたもの。「カードをお申込みになる方は、総合口座通帳または普通預金通帳とお届けの印章をご持参ください」といっています。写真は肥後銀行高森支店支店に設置された現金自動引出し機

怒りこめて国に抗議

列島縦断キャラバン隊

高森線 廃止反対で住民大集会

国鉄高森線は五十七年度末までに廃止。国鉄再建法の政令案に示された赤字ローカル線の切り捨ては、あまりにも残酷で、沿線住

民の怒りも高まっています。本町では七月二十八日「高森線廃止反対住民大集会」(国民の足を守る県民会議主催)を開き、同鉄道の存続と高千穂線延長工事再開を満場

に県民会議の魚返事務局長が「われわれは高森線廃止に強く反対し、皆さんとともに闘います」とあいさつ。続いて増田長陽村長が「赤子のオモチャを大人が取り上げたような国のやり方は許せない。立場を超えて廃止に反対しよう」と訴えました。

このあと、沿線住民を代表して通動で高森線を利用している長陽

高まってきたため、これをさらに盛り上げるのがねらいです。

会場の高森小学校体育館には、沿線住民や団体、労組関係者ら約千三百人が出席。はじめ

に県民会議の魚返事務局長が「われわれは高森線廃止に強く反対し、皆さんとともに闘います」とあいさつ。続いて増田長陽村長が「赤子のオモチャを大人が取り上げたような国のやり方は許せない。立場を超えて廃止に反対しよう」と訴えました。

このあと、沿線住民を代表して通動で高森線を利用している長陽

「高森スイカ」大好評

高森農協 スイカ部会 下通りで試食会開く

九州一甘い高森スイカをどうぞ――高森農協スイカ部会(野中満部会長)は、八月十五日午後一時から熊本市下通りアーケード街のど真中で自分たちで作った高森スイカの試食会を開きました。

「新鮮なうえに甘さも抜群」と、開始と同時に通行中の買い物客や学生、お年寄りが詰めかけ大好評

本町でスイカを栽培しているのは、色見地区を中心とした二十四戸の農家。ことしは栽培面積が昨年より二畝増えて、十五畝となりました。本町のスイカは高冷地で昼夜の寒暖の差が大きいため糖度が高く、市場ではひっぱりだこの人気。この日は、この高森スイ



好評だった高森スイカ試食会

カの銘柄を消費者にもっと知ってもらい、同時に生産者自らの意欲も高めようと開かれました。

同部会の若い後継者が丹精込めて作ったスイカをトラックで搬入。経済連、役場経済課、農協の若い職員らも応援に加わって、「こりゃ、高森でとれたスイカだけん、うまかですパイ」と、そのいのハッピーでPR。威勢のいい呼びかけで、試食には続々とお客が集まり応対が間に合わないほど。

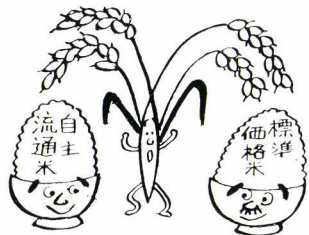
用意された約二百五十玉のスイカも、またたく間に品切れとなりました。

下通り星まつりで買物途中に立ち寄った主婦は「なにしろこんなに甘いスイカを食べたのは久しぶり。ここで分けてもらえないのが残念です」と語っていました。

△政府米▽ 米が不足したりすることのないよう、また、公平に分配するために、国が農家から買い上げて保管し、その出し入れを管理しているのが政府米です。

家庭で食べる配給米をはじめ、食堂、すし屋、旅館などに業務用として売られている標準価格米、徳用上米、徳用米など

ごはんはパンやめんとともに、日本人の主食です。食生活の上で一日たりとも欠かせない米が確実に、そして安定した価格で私たちの台所に届くようにすること——価格安定対策の眼目はこの点にあります。そこで国は、食糧管理法に基づき米の供給（流通と売り渡し量）と価格を直接管理しています。農家で生産された米が、私たちの台所に届くまでには二通りの流通経路があります。この経路の違いによって、米は「政府米」と「自主流通米」の二つに分かれます。



米 食糧管理制度で 家計の負担をカバー

家計に及ぼす影響などを考えて決められます。ところで、米価の「逆ザヤ」という言葉をきかれたことがあられると思います。「逆ザヤ」つまり政府は農家から買い入れる価格よりも安い値段で、消費者に配給しているのです。こうした「逆ザヤ」がなぜ起

産地から食卓まで 食料品の流通と 価格安定対策

□ 1 □

が主にこれに当たります。さて、価格ですが、国が農家から買い入れ価格（生産者米価）と売り渡し価格（消費者米価）を決めるに当たり、生産者委員や消費者委員を含めた米価審議会にはかった上で、物価や

菅山出身の富永公広君

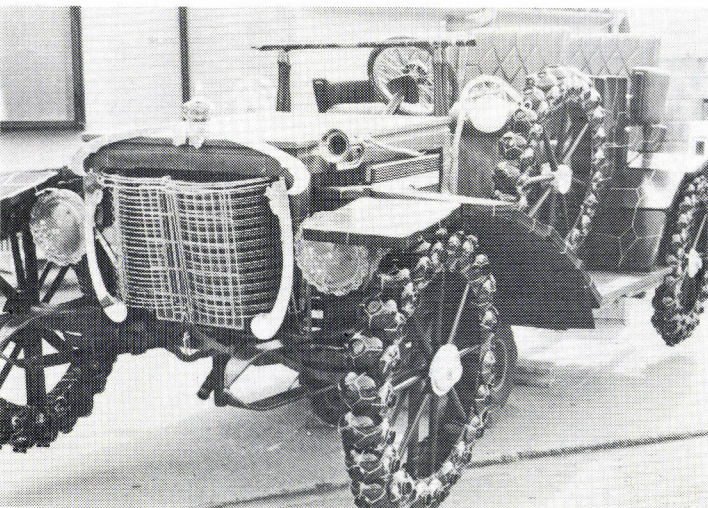
おめでとう全国優勝

熊工 野球部主将で活躍



熊本駅に着いた熊工チーム。先頭が富永君（熊日提供）

「もうひとつの甲子園」と呼ばれた先の全国高校定時・通信制軟式野球大会で、県代表の熊本工業が優勝したのはご存知の通りですが、このチームに本町出身の選手がいたというのは、あまり知られていないようです。サードを守り、二番打者、チームの主将、富永公広君（ひがその）人。本町大字菅山下尾野の富永学さんの二男——。五十二年三月草部中学校を卒業と同時に、熊本市の県自動車整備振興会に就職。そして県立熊本工業高校定時制電気科に入学、「以来、働きながら学び、かつ、野球を続けて四年目になります。小四の時にソフトボールを始め、草部



クラシックカー「ベント」。応接台、漆器で組み立て、子供の人気の的となりました

風鎮祭



陸上自衛隊第8音楽隊のパレード。規律正しい団体生活の中で練習したマーチはすばらしい

初日は午前零時を合図に、シャミ、太鼓、ハヤシによる「目覚し行事」で開幕。今年「ふるさと」の祭りを直直「う」のムードが高まり、昨年より四基多い二十一基の造り物が目抜き通りの辻々に姿を

造り物パレードで最高潮

夜は花火、演芸にわく

真夏を彩る町恒例の「風鎮祭」（町および町商工会共催）が、今年も八月十七・十八日の二日間、華やかに催されました。三十度を超す猛暑を吹き飛ばして踊りや仮装のパレードが街を練り、また花火大会や造り物の引き立てと、多彩な行事にどっと見物人が繰り出

値下がりしました 500キロ以上の遠距離通話料

ご存じですか



「遠距離電話は料金が高くて——」などと思わずに朗報です。今年八月から五百キロを超える遠距離電話の通話料が値下げされました。それにより、五百キロ以上の遠距離通話料の夜間・深夜割引料金が値下げになります。

昼間もお得な 日曜・祝日割引

日曜・祝日の昼間（午前八時～午後七時）の通話料が割引になりました。

話料が値下げされました。それにより、五百キロ以上の遠距離通話料の夜間・深夜割引料金が値下げになります。また、遠距離通話料を大幅に引き下げ、五百キロを超える、いわゆる遠距離の通話料が次のようになっています。五百キロ以上七百五十キロまでの三



横町向上会から、来年度の年番の下町向上会におそかに節刀渡しの儀式が行われます

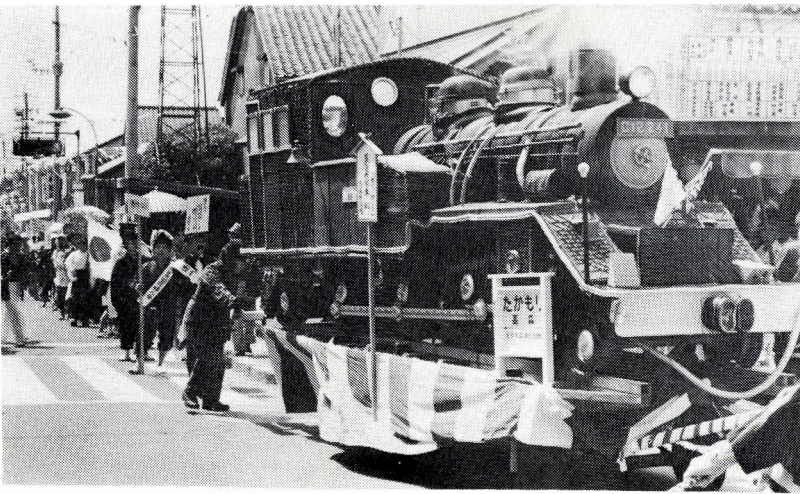


向上会のにわか観客も大笑い

大勢の見物人が詰めかけました。祭りの二日目の十八日は、高森阿蘇神社で五穀豊じょう祈願の神事があつたあと、役場、商工会、各区向上会などの手踊り・仮装が続々と繰り出され、このあと陸上自

衛隊第八音楽隊の演奏、夕方に入って呼び物の造り物の引き立てに移りました。応接セットや漆器を使ったクラシックカー「ベンツ」、役場が出陳したSLの二分の一の造り物、

タワシやホウキ、食器など生活用品で造られた軍鶏、キリン、シンなど苦心作が引き回されると、見物人の間から拍手が送られました。

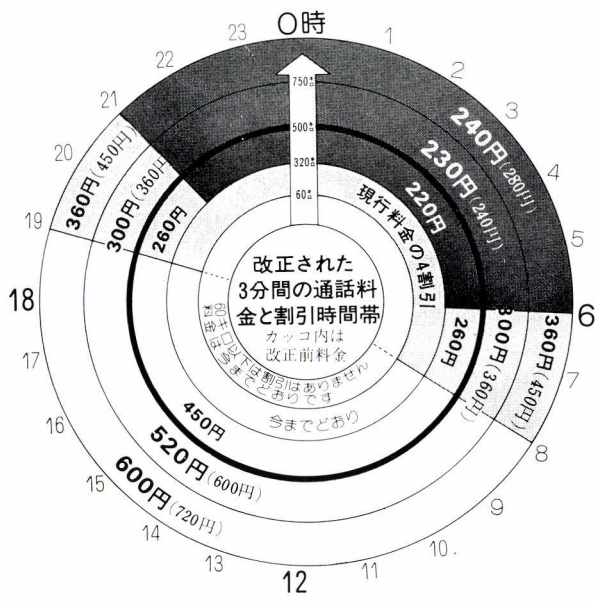


役場の造り物「蒸気機関車C12」実物の二分の一のスケールは迫力満点。仮装行列「高森線の今昔」をいっそう引き立てました

便利な留守番電話装置

留守中の電話が気がかりでしたら、不在中の着信を自動的に録音する留守番電話装置があります。応答メッセージ録音は内蔵マイクで九十秒まで録音、再生はスピーディー、早送り、巻戻しで再確認もできます。不用になった用件録音

は両面同時に消去されます。さらに、用件の録音の有無は、テープカウンターの働きで一目瞭然、お客様の用件は六分まで録音し、すめばすぐ次に備えます。このような便利な装置についてのお問い合わせは高森電報電話局へ



注) 円グラフ内太線部分から外側が料金値下げ部分です。

九十円に
百五十円に
百二十円、福岡、長崎百八十円
三百二十円、高知三百六十円が
二百円に
百六十円、牛深、山口二百三十
円が二百二十円に
五百円、大阪、奈良四百五十円
が二百六十円に
二百四十円、指宿二百八十円が

燃える高森中剣道部

—— 中 体 連 ——
九州代表で全国大会へ



中体連の県代表となった高森中剣道チーム

高森中学校の剣道部は、さきの中学校体育連盟主催の郡大会と、それに続く県大会で優勝したほか、このほど鹿児島市の県立体育館で行われた九州大会でも、なみいる強豪を倒してパーフェクト優勝（県代表）、近來にない快挙を成し遂げました。中体連の県代表校となったのは、阿蘇郡でも初めてのことで、関係者を喜ばせています。

同剣道部は三年生の奥根信幸君をキャプテンに部員二十四人。放課後に同中の道場で、たっぷり二時間の練習を続けています。指導にあたっているのは、同中の高岡信行教諭（三段）と渡辺八州男教諭

（四段）、それに多年にわたって少年の剣道育成に努めている横町の後藤幸充町議（六段教士）の三

あなたの会社の「情報部」

県中小企業情報センター

最近の経済状況は、中小企業にとってきわめて厳しいものがあります。経済の国際化、技術革新の加速化、需要構造の変化などきわめて複雑で、その変化の激しさは、かつてないほどです。

従来の経営の三大要素である「人材」「設備」「資金」に加え

「情報」がクローズアップされているのはそのためです。しかしこれだけ情報量が多くなると、企業だけの情報活動では無理が生じてきます。このような要請に応じて生まれたのが「熊本県中小企業情報センター」です。同センターでは次のような業務を行っています。

- 相談・サービス窓口の開設、テレフォンサービス、コピーサービスとあらゆる情報相談を受け付けます。
- 図書・資料等の閲覧、産業関連の名鑑、目録・図書・雑誌・新聞・情報ネットワークにより収集した資料等のライブラリーを無料で閲覧していただきます。
- 月刊情報誌の発行、情報センター「くまもと」（B5一部二百五十円）を発行しています。
- 各種調査研究、センター独自の調査研究を行っています。
- 視聴覚教材の貸出し、後継者の育成、企業内教育訓練のためのVTRテープ、スライドフィルムを充実して行きます。
- 講習会・研究会を開催します。詳しいことは（財）熊本県中小企業振興公社「熊本県中小企業情報センター」〒八六二熊本市水前寺六丁目七番二十六号興南ビル一階（☎〇九六三—八二一六一九八）へお問い合わせください。

幼キジ170羽を放鳥 休暇村など禁・休猟区に

人。どの部員も入部以来欠かさず練習を続けており、現在は二年生以上の十八人はすべて有段者という実力者ぞろいです。
渡辺教諭は「着任以来四年間剣道を指導してきましたが、部員ら

奥阿蘇の原野を再び野生の宝庫にと、町はこのほど県の依頼を受けて、町内の主な禁・休猟区に百七十羽のキジを放鳥しました。
南阿蘇外輪山の山岳原野は、かつてはキジなどの狩猟地として知られていましたが、ハンターの増加や開発の進行などで野鳥が減り減りました。そこで今年は河

原地区の約五百羽を新たに休猟区に指定して、同所を皮切りに矢津田保護区、高森峠一帯、南阿蘇国民休暇村、野尻小学校裏山の計五カ所に放鳥しました。
この日放鳥したのは、西原村の竹下野生化場で育てられた生後六十日ビナ。南阿蘇国民休暇村ではキャンプに訪れた大勢の子供たち

の手で一斉に放たれましたが、いずれのキジもバタバタと元気のいい羽音を立てながら山の中へ飛んで行きました。
放鳥したうち約七～八割が元気に育ち、来春には卵が生まれるといわれます。



キジを放鳥する子供たち